

農林水産大臣 林 芳正 様

要 望 書

本市では、本年9月15日・16日の台風18号による大雨により、住宅地の浸水や山間地の土砂崩落などの甚大な被害が今年の豪雨災害時に引き続き発生しました。

特に今回の大雨では本年8月より運用が開始された「特別警報」が国内で初めて発令されるなか、大雨により市内を流れる宇治川の水位が急激に上昇し、宇治川が氾濫する恐れがあったことから、市内で約6万人を対象とした避難指示を発令するなど、市民の安全確保に努めたところです。

一方で、道路冠水や法面崩壊が市内各所で多数発生するとともに、天ヶ瀬ダムにおいて最大で1,156t/secにも及ぶ放流が実施され、宇治川の水位が上昇したことにより内水排除が困難となり、半壊1件、床上・床下浸水42件の家屋被害が発生したことに加え、これらの被災箇所が多くが今年の京都府南部地域豪雨災害で被災した箇所でもあったことから、市民にとって不安がいつそう深まる結果となりました。

この間、本市では災害復旧や災害に強いまちづくりの推進を最重要課題として取り組みを進めておりますが、本格復旧や市民の不安解消には多くの課題が残されております。

また、市議会といたしましても、被災状況の現地調査等を行い、早急な対応の必要性を強く認識したところでございます。

つきましては、今後の本格復旧ならびに被災者の生活再建に加え、災害に強いまちづくりの推進に向けまして、次のとおり要望いたします。

1. 山間地における土砂災害の復旧支援

平成25年11月20日

京都府宇治市議会議長 田中 美貴子

1. 山間地における土砂災害の復旧支援について

この度の災害では、本市東部の山間地域におきまして、山腹崩壊や昨年の京都府南部地域豪雨による被災箇所を増破によりまして、家屋の損壊等の被害が発生するとともに、2年続いた被害に地域住民は2次災害への大きな不安を抱えることとなりました。

この度の被災箇所及び昨年の豪雨災害の被災箇所の対策工事につきましては、京都府により砂防事業や治山事業による対応が行なわれておりますが、これら事業の採択要件を満たさない被災箇所の対応には大変苦慮している状況です。

また、近年、多くの山林では、管理放棄の状況によりまして、降雨に対して大変脆弱な状態となっております。

つきましては、砂防事業、治山事業の採択要件の緩和と土地所有者での復旧が難しい被災箇所への支援制度の構築並びに山林の適切な管理に向けた法の制定等に、特段のご配慮をお願いいたします。